Creative Enzymes®

E. coli由来のアスパラギナーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1932

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アスパラギナーゼ（EC 3.5.1.1、USAN）またはコラスポース（BAN）は、アスパラギンをアスパラギン酸に加水分解する反□を触媒する酵素です。アスパラギナーゼは微生物によって発現および生成される酵素です。
別名	EC 3.5.1.1; アスパラギナーゼ; コラスポーゼ; L-アスパラギナーゼ; L-アスパラギン アミドヒドロラーゼ

製品情報

由来	大腸菌
形態	2.5 M リチウム硫酸塩中で。
EC番号	EC 3.5.1.1
CAS登□番号	9015-68-3
分子量	~ 37,900
活性	~ 15 U/mg
濃度	~ 350 U/mL
等電点	~ 6.3
最適pH	8
最適温度	37°C
単位定義	アスパラギナーゼ活性の1単位は、NADPHが存在するTris.HCLバッファー（45 mM）、pH 8.0中で、L-アスパラギン（7.3 mM）から1μモルのL-アスパルテートを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	4°C
安定性	> 4年間 4°Cで。